

## 令和2年度 足利市立西中学校 第62回卒業式 校長式辞

新型コロナウイルス感染拡大の第三波による様々な活動の制限も、ようやく解除に向けて動いています。また、乾燥と空っ風の中で、国内では見たことのないような山林火災の延焼も心配されましたが、無事に日常の生活が戻ってきました。このような中であっても身のまわりの自然には、着実に春の気配が感じられます。今日ここに、保護者の皆さまのご臨席のもと、この111名の生徒たちの門出をともに祝う機会が持てましたことは、喜ばしいことであり、足利市教育委員会ほか、関係者の皆様、保護者の皆様のご支援とご協力に感謝申し上げます。

第62回卒業生の皆さん、卒業おめでとうございます。

昨年三月の臨時休業では、学年の終わりを締めくくる大切な時期に家庭で自粛する生活を送ることとなった皆さんが、無事に例年と同じように新学期を迎えることができるのか、大変心配でした。

新学期、皆さんは、世の中の暗い雰囲気吹き飛ばすかのように明るく、笑顔いっぱい新学期に登校してくれました。しかし、その後すぐに再開された長い休業や、部活動の大会・コンクールが中止となる中では、部活動で後輩達と接したり、大会等で真剣にプレー・演奏等する姿で、思いを伝える機会が減り、悔しい思いをした人も多いと思います。そのような状況となっても皆さんは、例年とは違う状況をチャンスに変えて、後輩達に「西中魂」とは何かを示してくれました。今年度は、皆さんの明るさと優しさに何度も助けられました。

予定の急な変更が次々と起こる中で、三日間集中力を切らさずに先生の話聞き、班の中でお互いに確認しあいながら、無事に終了することができた修学旅行。学校に戻ってからもコロナ禍にあって修学旅行への参加を残念ながら諦めざるを得なかった友人のことなどを気遣い、それぞれの立場の友人に対して、思いやりのある行動をとってくれた皆さんに感謝しています。

三密状態を回避して安全に競技を行うにはどのような手立てがあるのか。生徒の手で考えて、実施した体育祭。保護者の皆様や、来賓の皆様の参加を取りやめ、例年より準備期間も短い中でしたが、充実した時を過ごし、大いに盛り上がりました。自分たちのものとして生徒が行事に主体的に取り組むことの大切さを確認し、この体育祭で各クラスの団結力が一気に高まったと感じました。

何よりも後輩たちに、皆さんの思いや熱意が直接伝わったのは、合唱コンクールでした。来年度には取り壊されることが決定した市民会館を会場とする市内各中学校の合唱コンクールの、最後を飾る合唱コンクールに向けて、各クラスでの練習だけでなく、後輩との歌いあわせの練習や、市民会館での舞台発表を通して、皆さんが示してくれた「お互いを高め合いながら真剣に行事に取り組む姿」や「後輩を思いやる優しさ」「強い団結力」こそが「西中魂」です。

様々な苦難の中で、皆さんが後輩に伝えた「西中魂」は、これからも代々後輩へと引き継がれることでしょう。今後更に西中が進化を続けるための、大きな力となります。この皆さんの思いを大切に、後輩達を導いていくことこそ、私たち西中教師の大切な使命です。

また今年度、山前地区の育成会長の高畑様と生徒会本部役員を中心として、取り組んだ、「地域行事に中学生のアイディアを取り入れる活動」は、大変画期的でした。自分たちのアイディアを生かした地域行事に、中学生ボランティアが地域の様々な年代の方々と協力し合いながら参加する。という、全国的にも希に見る活動になるはず。この話し合いに中核として参加した皆さんは、実際に育成会活動や、地域の行事が再開される時には、中学生ではなくなってしまうかもしれませんが、是非チャンスを見つけて、卒業生ボランティアとして手助けをして欲しいと思います。

昨年から続くコロナ禍の中で皆さんが取り組んだ「正確な情報をもとに、自分なりに危険を察知し、やるべきことをやる」ことや、これから数年間で急激に変化する物事に接して考える中で、判断していくものは、今後の皆さんの人生を支える「思考の軸」となるはずで、これからも、その明るさと前向きな姿勢で、様々な困難を乗り越えて生活していったらいいと思います。

私にとってこの西中学校での生活は、教師生活の中でも、特に意味の深いものです。なぜなら、今でも実家に帰ると頻りに西中学校の卒業生と行き会います。私の父親の教え子達です。幼稚園に入園する以前から、何度も訪れた西中学校の校舎のイメージは今のものとは違いますが、幼い頃に、父に連れられて西中を訪ねた私の姿を知っているという方々もたくさん地域にいます。私が小学生になる頃からは、多くの教え子の皆さんに、様々な場所に旅行や遊びに連れて行っていただきながら、直接多くのことを学びました。皆さんの先輩達に「私は育てられた」と思っています。私を育ててくれた西中学校の卒業生の方々は、今でも、毎月発行する「学校だより」に注目してくれており、皆さんを応援してくれると共に、私を激励してくれます。そして、地域の皆さんの意見、情報の提供や様々なアドバイスをしてくれます。このような育ての親に見守られながら、校長としてこの西中学校で教育に携わることに、私は重大な責任を感じています。

卒業生の皆さんも、自分を育ててくれたこの西中学校区への感謝の気持ちを忘れずに、この環境の中で育ったという自信を持って、力強く進んでいってください。

保護者の皆さま、お子様のご卒業、誠におめでとうございます。また、「地域全体で子どもたちを育てる」という強い信念のもと、今まで子どもたちを支えていただいた西中学校区の各団体の皆様、大変ありがとうございました。保護者・地域の皆様の支えや励ましのもとで、子どもたちは、自信をつかみ成長して来ました。保護者の皆様や地域の皆様の思いの強さを考えるとき、私たち西中学校の教育は、皆様の思いに十分応えることができているかと、常に、自問自答を繰り返しております。皆様の思いに応えられるよう、職員一同更なる努力をしてみたいと考えますので、今後とも、卒業生並びに西中学校を末永く見守っていただき、ご支援くださいますようお願いいたします。

最後となりますが、卒業は中学校の先生と、皆さんの関係の終わりではありません。新しい環境で悩むことや、新たな発見でうれしいことがあったとき、いいえ、特に何かがあったときでなくてもかまいません。また、西中を訪ねて来てください。「皆さん、卒業、本当におめでとう。」

令和3年3月11日

足利市立西中学校長 宮本 歩